

令和7年度上大久保中学校だより

上中だより

第3号

令和7年5月29日(木)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「友情について考えてみましょう!!」

校長 高久 正行 たかく まさゆき

5月の大型連休以降、今年から中間テストの代わりに行った「課題テスト」を終えると、6月の体育祭に向けた練習が始まりました。また、2年生「管弦楽教室」、3年生「修学旅行」、7組「ふれあい・夢ファーム」と校外に出かける行事も行われました。そして、明日(5月30日)から、サッカー競技を皮切りに、「さいたま市中学校総合体育大会」が始まります。生徒たちは、やるべきことが多い中、一つ一つのことにしっかり取り組んでいます。体育祭では、ラジオ体操に代わって「自校体操」を新たに取り入れることになりましたが、運動量の多い体操ではありますが、楽しそうな表情で練習を行っている姿を多く見かけます。ぜひ、体育祭での生徒たちの活躍する場面をご覧ください。

さて、先日、中学校総合体育大会に向けた「壮行会」でのこと...各部の部長の声掛けに応じて立ち上がる部員の返事、部長からのこれまでの思いや支えてくれた多くの人たちに対する感謝の言葉、生徒会長の激励の言葉、生徒会役員と運動部活動以外の生徒によるエール等々を見ると、団体競技、個人競技と形は違っていますが、出場する選手は応援してくれる人たちのために、応援する生徒は出場する選手のために、それぞれが支え合いながら大会に臨もうとしている姿に、言葉では言い表せないほどの感動を覚えました。これまでの練習の成果を十分発揮してくれること、そして、上中生らしいパフォーマンスを期待しています。

「友人は第二の自分である」というアリストテレスの言葉があります。アリストテレスは、古代ギリシャの哲学者で、哲学だけでなく、数学、天文学、気象学、生物学などあらゆる学問の研究を行い、それぞれの学問の形を作ったことから「万学の祖」と呼ばれています。彼は、この言葉にあるように、友人は、もう一人の自分と同じくらい大切なものであると言っています。自分が要求するだけでなく、「第二の自分」として大切に接していれば、きっと理解し合える親友ができ、うれしいときには、いっしょに喜んでくれ、悲しいとき、寂しいときには、いつもそばにいて励ましてくれる存在になるのだと思います。そして、もう一つ。ドイツの詩人フリードリヒ・フォン・シラーの「友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする」という言葉もあります。シラーにはケルナーという親友がいました。ケルナーとの友情の素晴らしさを感じ、その喜びをもとに、ベートーベン第九交響曲である「歓喜の曲」を作ったと言われています。また、シラーの作品「人質」は、太宰治の代表的な短編小説「走れメロス」のモチーフにもなったそうです。友情の大切さや素晴らしさは、歌や物語などになって多くの人々を感動させてくれています。

6月は、「いじめ撲滅強化月間」と定められ、学校独自のいじめ撲滅に向けた取組を実施することになっています。本校でも、「ストップいじめ!」啓発用ポスターを活用した学級スローガンづくりをはじめ、いくつかの取組を行う予定です。いじめを許さない学校づくりを目指す中で、改めて生徒には友情の大切さや素晴らしさについて考える機会にしていきたいと思っています。各ご家庭や地域におかれましても、いじめのない明るい社会について考える機会にいただければ幸いです。



壮行会



金閣寺



伏見稲荷

【コラム】150年前・・・

先日、学校で購読している「朝日中高生新聞」の記事に、「気象観測 150 年」というものがありました。150 年前の 6 月 1 日に、日本初の気象台である「東京気象台 (いまの気象庁)」が設置され、地震や気象の観測が始まったそうです。今から 150 年前の 1875 年は明治 8 年に当たり、明治維新以降、様々な改革が行われ、近代国家の基盤が築かれていた頃になります。この年は、長さの単位である 1 メートルの基準が統一され、「メートル条約」が結ばれた年 (日本は、1885 年に条約に参加) でもありました。今の社会の成り立ちを考える上でも、歴史を知っていることは大切なのだと改めて感じました。ちなみに、明治天皇に「あんぱん」が献上された年でもあり、献上された 4 月 4 日は「あんぱんの日」に制定されているとのことです。

さいたま市体育大会観戦時の応援者のマナーについて

- ①会場へは、公共の交通機関をご利用ください。(原則、保護者用駐車場はございませんが、会場ごとに駐車場規程がございますので、必ず事前に顧問へ確認ください。)
- ②ゴミは、各自で必ずお持ち帰りください。
- ③応援の場所については、大会本部、顧問の指示にしたがってください。また、応援のマナー違反 (大会本部や審判・相手選手等に対する抗議) は、大会運営の妨げになりますので、厳に慎みますよう、お願い申し上げます。

なお、ご協力いただけない場合、さいたま市中学校体育連盟からは、「運営主管が、発生した事案に対して関係機関と連携することもある」との連絡がきておりますので、ご注意ください。